



地域包括支援センター（はくわ会）

■質問 地域包括支援センターは、国の基準で人口二万人から三万人に一カ所設置するとされていることから、人口十五万人の野田市には五カ所必要となる。現在、市内には二カ所しか設置されておらず、これでは地域に根ざしたきめ細やかな介護予防ができる保障がなく、増設が求められています。

る。そこで、具体的な整備計画をお聞きしたい。  
□答弁 現在、地域包括支援センターは、市直営で中

## 地域包括支援センター 具体的な整備計画は

千久田 祐子 議員

防マネジメント業務を初めとする相談・支援業務や権利擁護事業を行っている。社団法人和（はくわ）会への委託で関宿地域に一カ所と市内に二カ所あり、介護予

今後の整備計画については、来年度に北部・川間地区に一カ所設置するとともに、第三期シルバープランの計画期間内に南部・福田地区にも一カ所設置する予定であることから、市内四つの日常生活圏域への設置を総合的に担う拠点づくりができるかと考えている。

### 決議を可決

## 大型物流センターの建設計画の

## 白紙撤回を求める決議を可決

定例会最終日に「大型物流センターの建設計画の白紙撤回を求める決議」が提出され、全会一致で可決しました。

【要旨】 みずきの街に計画されている大型物流センターの建設予定地は、第二種住居地域とされ建築基準法上物流センターは制限されていないことから、都市再生機構が野田市との協定や住民との販売時の約束をほぐして物流センターを建設しようとする事業者の販売し、地域住民・周辺住民の不安と怒りを招いている。すばらしい住宅地として形成されてきたみずきの街の破壊

につながらる物流センターが建設されることは市議会としても看過できない。よって、市議会は都市再生機構に対して、販売先の事業者が開発コンセプトや地区計画でうたっている事業への事業計画見直しを働きかけ、それができない場合には土地を買い戻して出直すことを求めるものである。

【提出者】 岡田 文雄議員ほか七名

### 委員会活動レポート

## 文教福祉委員会で 関宿地域の公共施設を視察

文教福祉委員会では、所管事務調査事項に基づき、本年1月17日に関宿地域にある保育所、公立幼稚園、小学校、学校給食センターの現地視察を行い、各施設の現状を調査しました。

